

熱中症による救急搬送の状況

救急企画室

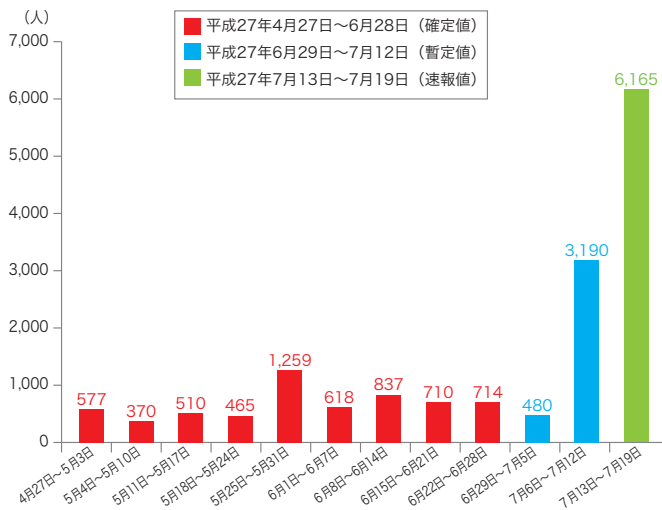
1 はじめに

7月中旬からの梅雨明け地域の拡がりとともに、全国各地で最高気温35度以上の猛暑日が観測されるようになりました。気温の上昇に伴い、熱中症による救急搬送人員数も増えていきます。熱中症の症状は、大量の発汗やめまいなどの軽度のものから、頭痛や軽い意識障害などの中等度のもの、重篤な意識障害や腎機能障害、血液凝固異常を起こし、死に至る重度のものまで様々です。熱中症は外界の環境に影響を受けやすく、誰にでも起こりうる病態です。しかし、適切な予防対策を講じれば、その発症を防ぐことができます。

消防庁ではHPやTwitterを通じて熱中症に関する注意喚起や情報提供等を行っています。

熱中症による救急搬送状況については例年6月頃から調査・公表していましたが、ゴールデンウィーク前後に熱中症の発生が多く見られた事をふまえて、今年度は約1ヶ月前倒して、4月27日から調査を開始しています。また、今年度はTwitterにおいて、環境省の推奨する暑さ指数((WBGT): Wet Bulb Globe Temperature)を活用した情報提供も開始しました。

本格的な夏が到来し、引き続き熱中症対策が必要とされるこの時期に、皆様の熱中症に対する関心を高め、意識的な予防に努めていただくことを目的として、今年の熱中症による救急搬送状況について、最新の数値(7月21日時点の速報値)を報告します。



※ 暫定値(青)と速報値(緑)の救急搬送人員数は、後日修正されることもあります。
図1 熱中症による救急搬送状況(週別推移)

2 熱中症による救急搬送状況(週別推移)(図1)

調査開始時(4月27日~5月3日)に500人以上の救急搬送人員数が見られ、5月下旬に一部の地域で、最高気温30度以上の真夏日が観測された時期には、救急搬送人員数が1,000人を超えました。6月は、梅雨が明け

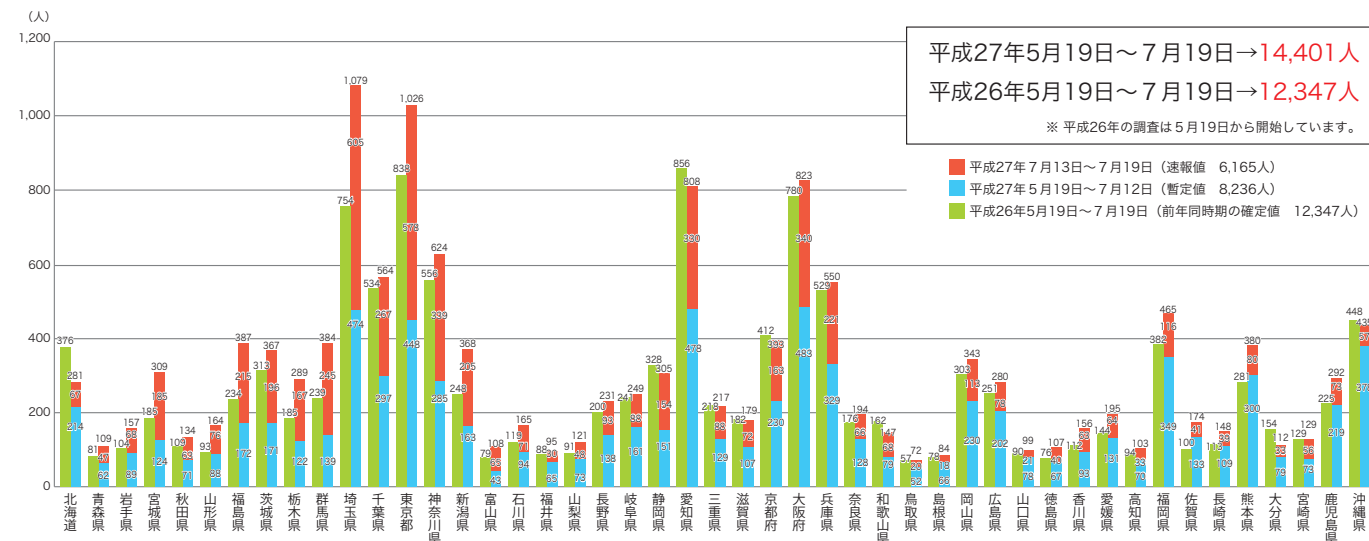


図2 熱中症による救急搬送人員総数(都道府県別昨年比)



た沖縄県において救急搬送人員数が増える状況が見られましたが、全国では600～800人程度で推移しています。7月に入り、いくつかの都道府県で猛暑日が観測された週（7月6日～7月12日）においては、救急搬送人員数が3,000人を超え、その前週の6.6倍増となりました。さらに、全国各地で連続した猛暑日が観測された週（7月13日～7月19日）においては、救急搬送人員数が今年最多の6,165人（速報値）となり、その前週（7月6日～7月12日）の約2倍となりました。急激に気温が上昇するような環境の変化に対し、体の順応が追いつかなかったことも、熱中症による救急搬送人員数が増加した要因のひとつと考えられます。

3 熱中症による救急搬送人員数総数（都道府県別昨年比）（図2）

今年の5月19日から7月19日までの熱中症による救急搬送人員数は1万4,401人で、昨年同時期の1万2,347人と比べると2,054人増となっています。梅雨明けの時期は沖縄を除き昨年とほぼ同時期でしたが、梅雨明け間近から梅雨明け後に全国各地で猛暑日が観測され、急激に気温が上昇したことが、救急搬送人員数の増加に影響していると考えられます。

4 年齢区分別搬送人員数（図3）

今年の調査開始（4月27日）から7月19日までの熱中症による救急搬送人員数（1万5,895人）のうち、高齢者が8,049人で最も多く、次いで成人5,264人、少年2,401人、乳幼児180人、新生児1人となっており、救急搬送人員数の半数以上を高齢者が占めています。高齢者は暑さやのどの渇きを自覚しにくいなど体の変化に気づきにくいことが多いことが原因のひとつと考えられます。また、小さな子供は汗腺の発達が未熟で、体温調節が苦手であり、熱を放散しにくく、熱中症にかかりやすいので注意が必要です。

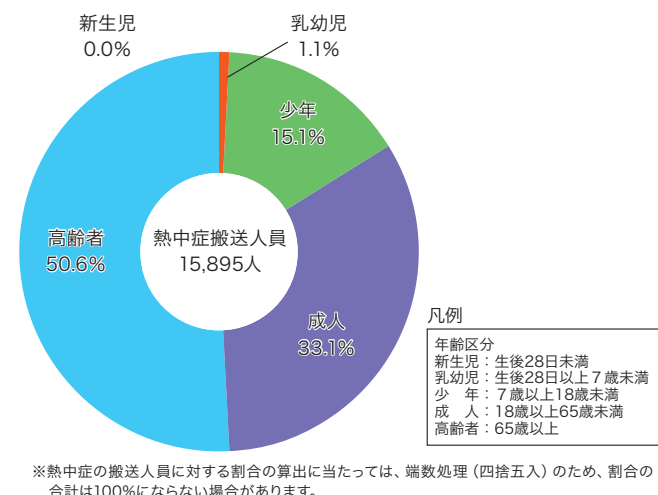


図3 年齢区分別搬送人員数

5 傷病程度別搬送人員数（図4）

今年の調査開始（4月27日）から7月19日までの熱中症による救急搬送人員数（1万5,895人）のうち、軽症が1万124人で最も多く、次いで中等症5,183人、重症379人、その他184人、死亡25人となっています。熱中症の症状は対処のタイミングや、年齢など傷病者の背景の違いにも影響を受け、刻々と変化をします。中には、短時間で重篤な状態に陥る場合もありますので十分に注意が必要です。

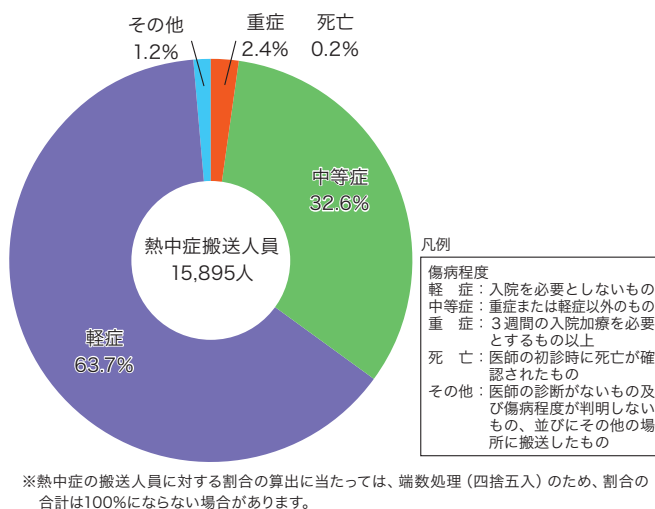


図4 傷病程度別搬送人員数

6 おわりに

熱中症について正しい知識を身につけて予防行動をすることで、熱中症は発症を防ぐことが可能です。また、周囲の気遣いで熱中症弱者といわれる高齢者や子供の発生を食い止めることもできます。

消防庁HPでは、熱中症による救急搬送状況の速報値を毎週発表するとともに、予防のポイントや応急手当についてわかりやすくまとめた「熱中症対策リーフレット」を公表しています。こうした情報を活用し、予防に役立つ夏を上手に乗り切りましょう。

消防庁熱中症情報

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

熱中症対策リーフレット

<http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2705/pdf/270501-1.pdf>

問い合わせ先

消防庁救急企画室 寺谷、平井、足立
TEL: 03-5253-7529